

地方のニーズに合わせた港湾整備により 飼料の生産コストを削減

と かつ
file03 **十勝港**

対象施設 内港地区多目的国際ターミナル 岸壁(-12m)
供用 平成12年

十勝管内には、乳牛と肉牛を合わせ37万頭（北海道の約30%）が飼育されていて、それらの配合飼料の需要は年間約70万トンにのぼる。

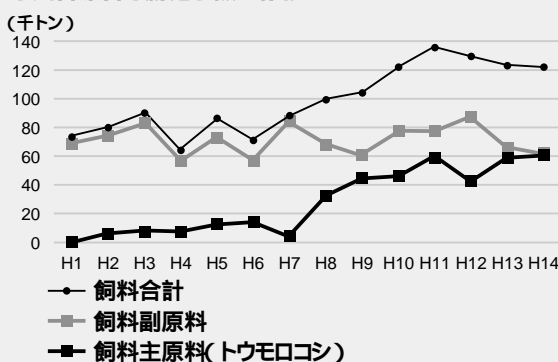
この内の3万トンを製造している中札内飼料組合では、十勝港内港地区岸壁の整備によって十勝港から原料を陸揚げすることにより、釧路港経由に比べて33%（1トン当り約700円）の陸送コストが削減される。それによって飼料の生産コストも下がっている。



●各港から帯広市までの距離



●飼料原料十勝港取扱い推移



陸上輸送コスト

2100円/トン → 1400円/トン

●中札内飼料組合



●十勝港 飼料荷役状況

